

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々※に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「私たちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第40期中間報告書（平成20年4月1日～平成20
年9月30日）をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、ユニットハウスのリーディングカンパニーとして、
目的や用途に応じ、柔軟に変化することのできる建築物の
提供を行ってまいりました。また、限られた期間であっても機
能性に富み、快適に過ごせる空間創りにも取り組んでまい
りました。

ユニットハウスのメリットとして、容易に移設できること、そ
の際に排出する廃棄物が従来の工法に比べ少ないことな
どがあげられます。必要な時に必要なスペースを必要な設
備とともに提供するレンタルシステムはきたるべき循環型社

会において有効なビジネスモデルであると考えます。

加えて地球規模での環境変動が深刻化する中、企業における環境負荷低減への取り組みは不可避となっております。「空間を折りたたむ」という当社のコア技術は、輸送効率を向上させ、ひいては温室効果ガス排出量の削減につながるものと考えます。

これからの社会システムに必要とされるものを自ら創り出し、そのオリジナル製品によって社会に貢献するという創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、成長・拡大を目指してまいります。

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）の業績について

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）における我が国経済は、米国のサブプライム問題に端を発し、景気は後退局面に入りました。この間、当社の主たる取引先である建設業界におきましても、建設受注は総じて厳しい状況で推移いたしました。ユニットハウス事業におきましては、大手ゼネコンをはじめとする建設着工高の減少により、建設現場向けユニットハウスのレンタル受注もその影響を受けました。ユニットハウスの販売につきましては、事務所用ユニットハウス・倉庫などの展示販売場（SPACE NAVI）が景気減速の影響を受け、中小事業主・一般消費者からの受注は厳しいものとなりました。これらの結果、ユニットハウス事業の当第2四半期累計期間売上高は7,930百

万円となりました。立体式駐車装置事業におきましては、当第2四半期累計期間売上高は237百万円でありました。

上記の結果、当第2四半期累計期間売上高は8,167百万円となりました。

利益面におきましては、原材料価格上昇等の影響を受けましたが、全社的に諸経費の削減に取り組んだことにより、営業利益596百万円、経常利益563百万円となりました。なお、子会社フロンテア環境システム（株）を平成20年9月に清算したことにより関係会社清算益28百万円を特別利益に計上し、四半期純利益309百万円となりました。

依然、建設市場全体の先行きは厳しいものとなっておりますが、主力事業である仮設ユニットハウスのレンタルシェア拡大に引き続き注力するとともに、新たな需要先の開拓に取り組み、ユニットハウスの市場拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長

長妻貴嗣